

萬鉄五郎記念美術館

東和エリア
美術ニュース

no.14

2014.
9 月号

KONOMA

木の間通信

開館30周年記念

11ぴきのねこと馬場のぼるの世界展

2014年9月6日(土)～11月24日(月・祝)

●会場：萬鉄五郎記念美術館



漫画家・絵本作家として活躍した馬場のぼる。絵本『11ぴきのねこ』シリーズは、40年以上の間、子供から大人まで幅広い世代に愛され続けてきました。本展では、『11ぴきのねこ』シリーズをはじめとする絵本や『ブウタン』など漫画原画、印刷原稿やスケッチに幼少期や青年期の貴重なノートやイラストなどの資料を加え、馬場のぼるの魅力を紹介します。

- 休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）
 - 開館時間：8:30～17:00（入館は16:30まで）
 - 入館料：一般700(650)円、高校・大学生400(350)円、小・中学生250(200)円
- *（ ）内20名以上の団体料金 *花巻市内小・中学生、花巻市内在住か市内の高校に在学する生徒、富士大学学生は土・日・祝日と長期休暇期間の入館料が無料となります。

左『11ぴきのねことぶた』／こくま社 1976年刊／印刷原稿（特色刷り校正用リトグラフ）
右上『ブウタン』／『幼年ブック』（集英社）／1954年掲載／漫画原稿
右下『紙ふうせん』（小学5年生頃作）
1938年頃／水彩・紙

街かど美術館2014 アート@つちざわ〈土澤〉

2014年10月11日(土)～11月9日(日) 9:00～16:00 《入場無料》

- 会場：花巻市東和町土沢地区～東晴山地区～谷内地区～田瀬地区 50ヶ所
(商店街の店舗、空き地、倉庫、神社、農村空間、生活空間など)
- ジャンル：現代美術(絵画・彫刻・インスタレーション・パフォーマンスなど)
- 参加作家：52名(招待作家9名、コンペ部門作家(実行委員会審査通過)43名)

●村尾かずこ ^{しっくい}漆喰こて絵看板プロジェクト in つちざわワークショップ

10月12日(日) 11:00～15:00

小さな漆喰の看板を作ってみませんか。

小学生以上対象(所要時間30分ほど) / 参加無料

●アニアス・ワイルダー 積み木ワークショップ

10月12日(日)、13日(月) ①10:30～12:00、②14:00～15:30 / 各回先着10名(どの回でも同内容です)

/ 大人対象 / 参加無料

●ふおーサークル 糸へんのあそびワークショップ

10月27日(月)、28日(火) 13:00～16:00

羊毛や毛糸をつかって気軽に遊んでみませんか。

小学生以上対象(所要時間15分ほど) / 参加無料

●アニアス・ワイルダー トークショー アウトドア・アート・プロジェクト

10月18日(土) 10:30～11:30 / 参加無料

●街かど美術館2014 シンポジウム

11月9日(日) 10:30～12:00 / 参加無料

●雅楽コンサート

10月13日(月) 14:00～15:00

出演：優美な音色会 / 会場：丹内山神社(谷内地区) / 入場無料

●サウンド・パフォーマンス

10月25日(土) 13:30～14:30

出演：中里広太(サウンドデザイナー) 会場：晴山倉庫 Fine Arts / 入場無料

●ダンス+サウンド・パフォーマンス

11月1日(土) 14:00～15:00

出演：千葉瑠衣子(ダンサー) 中里広太(サウンドデザイナー) / 会場：晴山倉庫 Fine Arts / 入場無料

●キョーシール・ゴージュ シタールコンサート

11月3日(月) ①11:00～12:00、②15:00～16:00

会場：①晴山倉庫 Fine Arts、②コミュニティガーデン / ①②とも先着30名 / 入場無料

●ぐるっとバスツアー

10月12日(日) 10:30～16:00 先着20名(事務局まで事前申込み。×切10月3日) / 参加費1,500円(昼食付)

アート&クラフト〈土澤〉マーケット

2014年10月18日(土) 19日(日) ●会場：萬鉄五郎記念美術館&土澤商店街
美術作品・工芸作品、手作り品のお店200件が大集合 ●時間：10:00～16:00

●問合せ・申込み先：街かど美術館実行委員会事務局

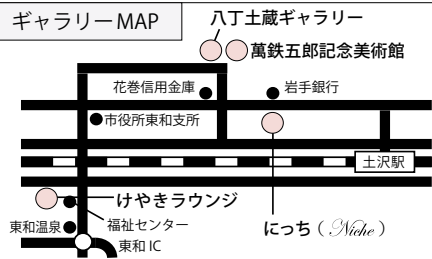
岩手県花巻市東和町土沢8-95「賑わいステーション」内 電話・FAX / 0198-29-5959

美術の街「土沢」 ギャラリー情報

9・10月の土沢のイベント

- 土沢まつり 9/13.14
- とうわ産業まつり2014 10/25.26

ギャラリーMAP



萬鉄五郎記念美術館

八丁土蔵 ギャラリー

花巻市東和町土沢 5-135
萬鉄五郎記念美術館内
9:00-16:30 月曜休(祝日は
翌日) 入場無料

iwate コンテンポラリーアート

杉本みゆき 展

—真夏の夜の夢—

7月5日(土)～9月28日(日)

盛岡在住の画家の詩情あふれる世界



Gallery Space けやきラウンジ

花巻市東和町安俵6-90 東和図書館内 tel.0198-42-3205
10:30～19:00 (最終日は16:00まで) 入場無料

佐々木たつ子 展

9月1日(月)～
9月30日(火)

初登場、秘密のベールがけやきで明かされる。



安ヶ平愛美 展

10月1日(水)～
10月31日(金)

けやき初登場、岩手期待の若手作家



にっち Niche

花巻市東和町土沢8-115
こっぼら土澤1階
11:00～17:00
火曜定休 入場無料

シートン 展

10月22日(水)～
11月3日(月)

動物作家で画家でもあったシートンの魅力を絵や原書を通して紹介。



喫茶「八丁土蔵」

萬鉄五郎の自家「八丁」にあった土蔵を移築復元した、ギャラリーと喫茶スペースです。自慢のオリジナルコーヒー「蔵」「八丁」を、ぜひ一度ご賞味ください。 営業時間：10:00～16:00 (lo.15:30)



「レリーフ」 東西の名品

昨春秋、国立西洋美術館で、日本で初公開となるミケランジェロの最初期の『階段の聖母』（1490年頃）を見ることができ感動した。彼の15歳の作品で、厚さ4・5センチの大大理石に彫られたレリーフ（低浮雕）である。彼の名声を高めた『ピエタ』や『ダヴィデ』など後の多くの彫刻作品が内包する内容と技術をすでに備えていたことに驚いた。

聖母の右手の仕草からイエスに乳を含ませていることが分かる。背景の階段にいる子供は福音史家を象徴している。限られた画面の枠のなかで、奥行きと空間の拡がりを出すため「短縮法」を試みている。美しいプロファイル（横顔）のマリアだが、手がいささか大きく骨太な身体つきをしている。ミケランジェロは十代から女性像に男性的な逞しさ（マツチョ）を求めていた。

それに幼児キリスト、福音史家の腕も太くたくましい。ミケランジェロ作品の原点はマツチョだ、すでにその彼の特徴が出ている。

ミケランジェロは「私は彫刻家だ！」と言っている。それはすでに画家として名声を得ていた23歳年長のレオナルド・ダ・ヴィンチに対する強烈なライバル意識からである。あの有名なシステーナ礼拝堂の天井画も、法王ユリウス二世から無理やり命じられて33歳のとき4年の歳月をかけて描いたもので、本人はあくまで彫刻家を自認していた。それでもあれだけの絵画の人類遺産といえる傑作を生み出し、ついには「神のごとき人（デイヴィーノ）」と称揚された。長い中世のトンネルを抜けて、ルネサンスの時代になって初めて人々は、神（キリスト）だけでなく人間の偉大さも称賛するようになった。そして同時期に、東京芸大美術館で「国宝興福寺仏頭展」が開かれていた。「仏頭」の守護神として造られた浮彫の最高傑作として有名な国宝「板彫十二神将像」（平安時代）が出品され、浮彫

の東西の名品を同時に見る幸せを得た。厚さ3センチほどの一枚のヒノキ板から彫りだされた十二面のレリーフ（高さ1尺、幅40センチ）は、いずれも彫口に変化をつけて陰影を強調、骨格が太くいきいきとして立体感が見事にある。写実的な作風から「慶派」の作り手のものと思われる。ミケランジェロに匹敵するレリーフで、しかもミケランジェロより450年も早い。

萬鉄五郎記念美術館長 中村光紀



右/ミケランジェロ《階段の聖母》1490-92年 ブオナローティ美術館
左/「板彫十二神将立像 迷途羅大将」平安時代 興福寺蔵 国宝

萬鉄五郎記念美術館 岩手県花巻市東和町土沢 5-135 Tel.0198-42-4402 8:30am. ~ 5:00pm.

yorozu00@cocoa.ocn.ne.jp <http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/503/p004177.html> 月曜休館（祝日の場合その翌日）

発行人／東和町土沢商店街商店会連絡会会長小原茂明